

中野委員長体制を1300全員で支え 血と汗で築いた動労千葉を守りぬいてほしい

日刊 動労千葉

83. 10. 8

No. 1462

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

十年間の任をおえて

関川前委員長の退任あいさつ

五期十年の任務を終え退任の挨拶にたつ関川前委員長と永らく交渉部の任務を果し出身支部に帰任する鶴岡特別執行委員。本当にごくろうさまでした。満場の熱い拍手がおしみに送られました。（十月六日）



動労千葉は十月五日（六日）、第八回定期大会を開催し、戦後政治の総決算をかけて戦争への道を直進する中曾根内閣の反動攻撃を、動労千葉を先頭とした三里塚・国鉄決戦の爆発で打ち破ろうとの運動方針を決定し、大成功をかちとりました。

大会は、中野委員長を先頭とする新執行体制を確立し、新生「動労千葉丸」として船出すると同時に動労千葉の委員長として五年間（千葉地本委員長を五年）、常に闘いの先頭にたつて指導してください。関川 宰前委員長が来年五八才の定年をひかえ、今大会をもって退任となりました。動労千葉一三〇〇組合員は、関川委員長の功績をたたえるとともに、永遠の同志として健康と変らぬ御指導を望んでやみません。

「日刊動労千葉」編集委員会は、大会における関川前委員長退任のあいさつを紹介します。

組合員、家族の皆さんに
支えられた委員長だった

第八回定期大会の最後にあたりまして、退任役員を代表してあいさつします。五期十年にわたって執行委員長を務めさせていただきました関川です。

今、この重要な時期に委員長の職を辞めるといふことは、本当に心苦しいものがありますが、来年の三月に満五八才をむかえますので、今大会で辞めさせていただくことになりました。

思い起こせばちょうど十年前、勝浦大会が時間切れで流会かどうかという時、会場の鳴海荘のガケっ淵で大会を継続し、急拠私が執行委員長を引き受けたんです。

そしてそれから十年、非常に苦しいこともありました。つらいこともありましたが、しかし組合員家族の皆さんの団結の力で支えられた委員長でした。

印象に残る

分離独立・81・3闘争・三里塚闘争

思い起こせばいろんなことがありました。

十年のうち五年間は動労「本部」と一緒でした。

何といわれても、俺はお前たち革マルとケンカするんだとはいえない苦しい立場で、しかし内心は

「こいつら今に見てる」と思いながら血圧を上げながら動労「本部」へ行きました。しかし、分離独立してからの組合員の皆さんの方が大変だったと思います。支部へのあの暴力的なオルグを受け、そして家庭におしかけ家族まで巻きこむなかで、大方の予想を裏切つて一四〇〇名の組合員中一三〇〇名の方々が私達の動労千葉に結集してくださった。

そして、あの81・3闘争を闘い、三里塚現地闘争を闘いぬいてきたのです。

団結し組織の強化・発展を闘いとれ

私はいまここに立って、みなさん方のお顔を拝見して「苦勞をかけたなあ」と思います。

しかし、その動労千葉が来年結成五周年を迎えます。一人の脱落もなく今日までできました。

皆さん方は、いろいろ厳しい情勢の中で、さらに飛躍していく運動方針を決定しました。これからイバラの道は続くでしょうが、五年後の記念事業、十年、二十年記念を、私達が本当に血と汗で築きあげた動労千葉の組織を、新しい中野体制を支え、支部の団結をしっかりと守りぬいて強化発展させていただくことをお願いして退任のあいさつにさせていただきます。

どうもありがとうございました。